

2024/1/8

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

## 先週のマーケット動向(1月2日～1月5日)

為替、株式

|         | Open     | High     | Low      | Close    | Chg    |
|---------|----------|----------|----------|----------|--------|
| USD/KRW | 1,293.0  | 1,317.2  | 1,290.2  | 1,315.4  | +27.4  |
| JPY/KRW | 9.1494   | 9.2418   | 9.0506   | 9.0536   | ▲0.071 |
| KOSPI   | 2,645.47 | 2,675.80 | 2,572.60 | 2,578.08 | ▲77.20 |

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。年始のドル/ウォン相場は米早期利下げ期待が後退するとともに、上昇。2日は年始で流動性に乏しい中、域外からの資金流入により上昇。3日は前日米国時間に発表された経済指標が軟調だったことで、早期利下げ期待が後退。米金利が上昇しドルが買われた。4日も同様に12月FOMC議事録内容を受け、比較的タカ派な内容だったことからドル買いが継続した。5日は北朝鮮による韓国西海へのミサイル発射を受け、延平島住民避難警報が発出されたことを受け、ドル/ウォンは1,317.2ウォンまで急騰。結局、ドル/ウォンは先週末比+27.4ウォンの、1,315.4ウォンでクローズした。

## 今週の見通し

今週のドル/ウォンは軟調推移を想定する。引き続き米金融政策に対する見通しの変化が相場材料となる中で、11日には米CPIの発表を控えている。米インフレが引き続き低下基調を示せば利下げ織り込みが進みドルは軟調推移に転じよう。また、11日にはBOK会合を控える。インフレは後退基調であるも家計債務の増加に対する懸念などから政策金利は据え置かれるだろう。12日の中国経済指標には注意したい。引き続き中国経済悪化懸念が意識される中で、指標内容が悪ければアジア通貨全般に売り圧力が強まる展開が想定される。

## 予想レンジ

| USD/KRW     | JPY/KRW     | USD/JPY       |
|-------------|-------------|---------------|
| 1290 ~ 1320 | 8.95 ~ 9.25 | 142.5 ~ 145.5 |

## \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



## \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 8日(月) 欧 12月 消費者信頼感指数 確報値
- 9日(火) 韓 11月 国際収支  
日 12月 東京都内CPI
- 10日(水) 韓 12月 失業率
- 11日(木) 米 1月 失業保険新規申請者数  
米 12月 CPI  
韓 BOK 政策金利発表
- 12日(金) 中 12月 PPI  
中 12月 CPI  
中 12月 貿易収支  
日 11月 国際収支  
米 12月 PPI

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。